

令和 6 年度  
一関市国際姉妹都市交流事業実施報告書

2024.6.26～7.1 第 21 回セントラルハイランズ市高校生受入事業

2024.8.1～8.11 第 31 回一関市中学生海外派遣事業



一般財団法人

自治体国際化協会

この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の助成事業により実施されています。

## はじめに

オーストラリアクイーンズランド州セントラルハイランズ市と岩手県一関市は、令和5年（2023年）、国際姉妹都市として交流30周年を迎えました。

両市間で育まれてきた友情がこの先も長く続くよう、一関市では、両市の交流30周年を機に、これまで市と旧藤沢町国際交流協会が別々に行ってきた両市間の学生交流事業を、令和6年(2024年)度実施分より市主催事業として一本化することといたしました。

往來を伴ったセントラルハイランズ市との交流は、令和2年（2020年）～令和5年（2023年）の4年間、新型コロナウイルス感染症の影響により中断していたため、今回はおよそ5年ぶりに実施しました。

両市の学生たちが、他国の文化や習慣に触れ、現地の人々と交流することで様々なことを学び感じ取ってくれたことを喜ぶとともに、本交流事業を通じて、両市の関係が今後より一層強固になることを祈念します。

## 目次

1	セントラルハイランズ市の概要について	2
2	セントラルハイランズ市高校生受入事業	
(1)	日程	3
(2)	実施内容詳細	4
3	一関市中学生海外派遣事業	
(1)	日程	9
(2)	派遣者一覧	10
(3)	実施内容詳細	11
(4)	派遣生徒感想レポート	21

## 1 セントラルハイランズ市の概要について

オーストラリア連邦クイーンズランド州に位置する。

平成 20 年（2008 年）3 月 15 日に 4 自治体（エメラルド、ピークダウン、バウヒニア、ブラックウォーター）の合併により誕生。中心地はエメラルド。

州都ブリスベンより空路約 1 時間 30 分。

人口：28,973 人（一関市の約 4 分の 1）※2021 年現在

面積：59,884 km<sup>2</sup>（一関市の約 48 倍）

主要産業：鉱工業（石炭、サファイヤ）、  
農業（モロコシ、ひまわり、紅花、小麦等）、  
畜産（牛肉）

コミュニティ：13



### 一関市との国際姉妹都市提携の主な流れについて

1983(昭和 58)年	藤沢町が初代国際理解事業講師をオーストラリアから招聘、以降 2005 年（平成 17 年）まで同国から夫妻で計 16 組 32 名を講師として採用
1990(平成 2)年	第 1 回中高生ホームステイ短期留学事業を実施 （現在は一関市中学生海外派遣事業として実施）
1993(平成 5)年	藤沢町がデュアリング町と国際友好親善の提携調印
1995(平成 7)年	第 1 回デュアリング町友好訪問団（高校生）受入れ実施 （現在はセントラルハイランズ市高校生受入事業として実施）
1998(平成 10)年	オーストラリア日本庭園が開園 セミナーハウス落成
2006(平成 18)年	国際友好親善の町デュアリング町友好訪問団受入れ事業を実施
2008(平成 20)年	デュアリング町の合併に伴いセントラルハイランズ市と藤沢町の国際姉妹都市の提携調印
2011(平成 23)年	藤沢町と一関市の合併に伴い、セントラルハイランズ市と一関市の国際姉妹都市の提携調印
2015(平成 27)年	セントラルハイランズ市が「オーストラリア・ジャパン・フレンドシップパーク」と「電気式バーベキューコンロ&ベンチ」を一関市内に整備・寄贈
2023(令和 5)年	セントラルハイランズ市・一関市 交流 30 周年

このほかにも、学校同士や住民同士、市長を含む公式訪問団の相互訪問など、様々な交流事業が行われてきました。

令和 6 年度現在、一関市中学生海外派遣事業でセントラルハイランズ市を訪問した中学生は延べ 261 人、セントラルハイランズ市高校生受入事業でも多数のセントラルハイランズ市高校生が来日しています。

## 2 セントラルハイランズ市高校生受入事業

### (1) 日程

令和6年6月26日(水)～7月1日(月)

日にち	時間	内容
6/26(水)	12:10 13:00 15:00 16:15 18:00	一ノ関駅到着 巖美溪見学・昼食 市長面会 藤沢文化センター訪問 歓迎夕食会  ホテル泊
6/27(木)	9:00 9:30  13:30 16:00 17:30	生徒集合 毛越寺見学・座禅体験 中尊寺見学 昼食 中里小学校での交流 一関中学校での交流(部活動) ホストファミリーとの対面後、生徒解散  ホームステイ①
6/28(金)	9:00 9:10 10:00  13:30 15:30 17:15	生徒集合 オーストラリア・ジャパン・フレンドシップパーク見学 狛鼻溪舟下り体験 昼食 和菓子づくり体験 手ぬぐいの藍染め体験 生徒解散  ホームステイ②
6/29(土)	終日	ホストファミリーとの交流  ホームステイ③
6/30(日)	午前 16:00 18:00	ホストファミリーとの交流 一関市中学生海外派遣事業派遣中学生との交流会 さよならパーティー  ホテル泊
7/1(月)	朝	一ノ関駅発 東京へ

### 来訪者

セントラルハイランズ市高校生 8名

引率(セントラルハイランズ市職員) 2名 計10名

(2) 実施内容詳細

6/26(水)		
12:10	一ノ関駅到着	<p>一関へようこそ！揃いのシャツとスーツケースで颯爽と到着です。</p>  <p>初めての新幹線でした</p>
13:00	巖美溪見学・昼食	<p>サハラガラスパーク・巖美溪を見学し、かつこうだんご(空飛ぶだんご)を体験。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ガラス工房の見学</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>巖美溪で記念撮影</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>かつこうだんごではオーストラリア国旗を揚げて国歌を鳴らしてもらうという歓迎を受けましたが、国歌にピンときていなかった生徒多数</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>あんこ・ごま・みたらしを食べ比べていました</p> </div> </div>
15:00	市長面会	<p>一関市役所で一関市長と懇談し、交流 30 周年について市長から説明。生徒たちは、一関市の印象や楽しみにしていることを話しました。</p>  <p>懇談の様子</p>

16:15	藤沢文化センター訪問	<p>旧藤沢町時代からのデュアリング町、セントラルハイランズ市とのつながりや交流の歴史について、当時から長く事業に関わって来られた佐川伸氏からご説明いただきました。</p>   <p>熱心に話を聞く生徒たち</p> <p>佐川氏と記念撮影</p>
18:00	歓迎夕食会	<p>一関市長、一関市国際交流協会の皆さん、高校生を受け入れるホストファミリーの皆さんが、ゲストを歓迎しました。セントラルハイランズ市から、一関市ヘジエムの木を、一関市国際交流協会へティンバーでできたきのこのオブジェを、ホストファミリーにサファイアのピアスをいただきました。</p>   <p>みんなでピース</p> <p>引率のお2人と</p>
ホテル泊		

6/27(木)		
9:30	毛越寺見学・座禅体験 中尊寺見学	<p>晴天の中、毛越寺の庭園を散策。鐘を鳴らす体験をしたり、座禅体験をしたりと、日本の文化を楽しんだ後は、中尊寺で金色堂を見学。覆堂内で流れる説明アナウンスを日本語から英語に変更していただき、皆真剣に聞き入っていました。</p>     <p>座禅体験</p> <p>毛越寺庭園で記念撮影</p> <p>暑くて大変だった中尊寺</p> <p>お昼の餅御膳は好き嫌いが分かれた？</p>

13:30	中里小学校での交流	<p>中里小学校では、6年生の皆さんと自己紹介ゲームをしたほか、「一関や日本のおすすめ」のプレゼンをしていただきました。</p> <p>セントラルハイランズ市の高校生の皆さんも、セントラルハイランズ市の紹介をしました。</p> <p>中里小学校伝統の鶏舞を見学後、中里地域の方から鶏舞の衣装を着せていただいでみんなで記念撮影をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>自己紹介ゲーム中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プレゼンを真剣に聞きます</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>鶏舞衣装の着付け中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>最後はみんなで記念撮影！</p> </div> </div>
16:00	一関中学校での交流	<p>一関中学校では、高校生は2名ずつ4グループに分かれて、ソフトテニス部、男子バスケットボール部、剣道部、総合文化部の4つの部活動に参加。日本人の生徒のみなさんともすぐ打ち解けて、楽しく活動していました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>男子バスケットボール部</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>総合文化部</p> </div> </div>
17:30	ホストファミリーとの対面	<p>一関市役所で、今日から4日間お世話になるホストファミリーと対面し、その後ホームステイへ。皆緊張した面持ちでしたが、歓迎夕食会で顔を合わせている家庭も多かったことから、スムーズに解散となりました。</p> <p style="text-align: right;">ホームステイ①</p>

<b>6/28(金)</b>		
9:10	オーストラリア・ジャパン・フレンドシップパーク見学	<p>平成27年にセントラルハイランズ市から寄贈いただいた、オーストラリア・ジャパン・フレンドシップパークを見学。</p> <div style="text-align: center;">  <p>記念碑の前で</p> </div>

10:00	狛鼻溪舟下り体験	<p>狛鼻溪での舟下りでは、魚に餌をあげたり、溪谷に声を響かせながら歌ったり、対岸の穴に入れば願い事がかなうと言われている”運玉投げ”に挑戦したりと、オーストラリアとはまた違った日本の自然の中でリラックスして過ごしました。</p>   <p>新緑の中、舟上でリラックス</p> <p>運玉投げ！最後の一投で成功</p>
13:30	和菓子づくり体験	<p>本格的な和菓子づくり体験に挑戦。皆器用につくっていました。</p>   <p>真剣！</p> <p>季節の生菓子を2種類作りました</p>
15:30	手ぬぐいの藍染め体験	<p>染物店の方に習いながら、手ぬぐいの藍染め体験をしました。和菓子づくり同様、全員テキパキと作業。オリジナリティあふれる作品は、乾燥させお土産になりました。</p>   <p>染料に手ぬぐいを浸しています</p> <p>完成品</p>
17:15	生徒解散	
ホームステイ②		

<b>6/29(土)</b>		
終日	ホストファミリーとの交流	<p>終日、ホストファミリーとの交流を楽しみました。市外に出かけたり、ショッピングに行ったり、ステイ先の中学生の部活の大会を見に行ったり…ご家庭によってさまざまな過ごし方をしたようです。</p>
ホームステイ③		

6/30(日)		
日中	ホストファミリーとの交流	
16:00	一関市中学生海外派遣事業参加生徒との交流会	<p>一関市中学生海外派遣事業で派遣される中学生8名との全体交流会を実施しました。時間を延長するほど盛り上がりました。</p>  <p>協力してクイズを解きます</p>  <p>1位おめでとう！</p>
18:00	さよならパーティー	<p>ホストファミリーの家族や、セントラルハイランズ市からのゲストを歓迎した関係者が集って送別会を行いました。8月の再会を約束し、しばしのお別れです。</p>  <p>ブッシュ・ダンスを参加者全員で踊って大盛り上がり！</p>  <p>みんなで最後の記念撮影</p>
ホテル泊		

7/1(月)		
7:45	東京へ向けて出発	<p>あっという間の6日間。皆が元気にセントラルハイランズへ帰ることを祈念して、関係者一同で見送りました。</p>  <p>平日の早朝でしたが、ホストファミリーも見送りに</p>  <p>もっと良かった！</p>

### 3 一関市中学生海外派遣事業

#### (1) 日程

団 結 式：令和6年5月17日(金)

事前研修会：令和6年6月22日(土)、6月30日(日)、7月20日(土)

派 遣：令和6年8月1日(木)～8月11日(日)

日にち	時間	内容	
8/1(木)	11:00 13:51 18:00 21:30	壮行式 一ノ関駅発 やまびこ 58号 成田空港第2ターミナル着 成田空港発 カンタス航空 QF62便	機内泊
8/2(金)	7:25 12:50 14:15 15:00 16:30 17:45	ブリスベン空港着 ブリスベン空港発 カンタス航空 QF1794 エメラルド空港着 ホテルチェックイン、フリータイム アートギャラリー見学 夕食	モーテル泊
8/3(土)	7:45	朝食・ホストファミリーとの対面 解散 ホストファミリーとのフリータイム	ホームステイ①
8/4(日)	終日	ホストファミリーとのフリータイム	ホームステイ②
8/5(月)	終日	学校体験（エメラルド高校、ブラックウォーター高校、カペラ高校）	ホームステイ③
8/6(火)	8:30 10:30 11:30 13:30 14:00 14:30	ジェリンバ鉱山見学 モーニング・ティー ブラックウォーター石炭センター見学 日本庭園見学 ブラックウォーター支所訪問 ブラックウォーター図書館見学	ホームステイ④
8/7(水)	8:15 10:00 13:45	セントラルハイランズ市役所訪問、市長・評議員との面会 レジンアクセサリーづくり体験 宝石採取体験	セミナーハウス泊
8/8(木)	9:00 13:00 18:30	マンダリン農場・出荷工場見学 牧場見学 送別夕食会	セミナーハウス泊
8/9(金)	7:45 9:30 11:55 15:00 16:35	市長との朝食会 大きなゴッホの「ひまわり」見学 エメラルド空港発 カンタス航空 QF2405 ブリスベン空港発 カンタス航空 QF539 シドニー空港着 シドニー市内散策	ホテル泊
8/10(土)	10:00 18:00 21:15	シドニー市内見学 シドニー空港着 シドニー空港発 カンタス航空 QF25	機内泊
8/11(日)	6:15 8:45 11:27	羽田空港着 東京駅発 やまびこ 53号 一ノ関駅着 解散	

帰国報告会：令和6年8月13日(火)

事業報告会：令和6年11月10日(日)

## (2) 派遣者一覧

### 派遣生徒

※五十音順

氏名	所属中学校
いがらし れおん 五十嵐 玲音	磐井中学校
かとう るしあ 加藤 琉此亜	磐井中学校
さとう ももか 佐藤 百華	磐井中学校
しみず あいこ 清水 藍子	磐井中学校
ちだ こほな 千田 心櫻	磐井中学校
ちば いずみ 千葉 泉	一関中学校
ちば みゆ 千葉 美結	東山中学校
つつみ もえか 堤 萌華	桜町中学校

### 引率者

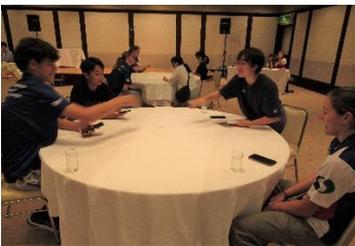
氏名	所属
フィッシャー いちながせ フィッシャー 一永世	一関中学校
すがわら ゆう 菅原 優	いちのせきしこうりゅうすいしんか 一関市交流推進課

### (3) 実施内容詳細

#### < 結団式 >

<b>5/17(金)</b>		
18:30～ 20:00	結団式	一関市役所にて、派遣生徒及び保護者の皆さんを対象に、初めての顔合わせを行うとともに、今年度の派遣事業の実施概要を説明しました。

#### < 事前研修会 >

<b>第1回</b>		
6/22(土) 13:00～ 16:00	海外・オーストラリアの基礎知識 ホームステイで使う英会話	<p>第1回目の事前研修会では、全員海外渡航は初めてのため、まずは海外での行動に対する心構えと、オーストラリアという国の基礎知識について学びました。また、ホームステイや訪問先で使える簡単な英会話フレーズについても学びました。</p>  
<b>第2回</b>		
6/30(日) 16:00～ 18:00	セントラルハイランズ市高校生との交流会	<p>第2回目の事前研修会では、セントラルハイランズ市からの高校生と実際にゲームやクイズで交流しました。時にはジェスチャーを交えたり、スマートフォンの翻訳機能を使ったりしながらも、英語で会話を弾ませ、楽しい時間を過ごしました。</p>  
<b>第3回</b>		
7/20(土) 13:00～ 16:00	英語で自己紹介練習 一関市のプレゼン作成	<p>アメリカ人の先生と留学経験豊富な日本人の先生を相手に、英語で自己紹介の練習をしました。自己紹介の後は質疑応答もあり、リアルな英会話レッスンとなりました。</p> <p>また、セントラルハイランズ市で披露する「一関市のプレゼン資料」の作成もしました。それぞれテーマを決めて、グループで作成。本番まで各自練習を重ねることにしました。</p>  

< 派遣 >

8/1(木)		
11:00	壮行式	<p>一関市役所にて、出発前に壮行式を実施。市長・教育長・生徒の所属中学校の校長・生徒の保護者などが見守る中、千田心櫻さんが生徒代表挨拶を行い、全員で充実した交流を行って行くことを誓いました。</p>  <p>校長先生方に見守られながらの壮行式</p>
13:51	一ノ関駅出発	 <p>ホームでそわそわ</p>  <p>まだまだ元気です</p>
18:00	成田空港第2ターミナル到着	<p>成田空港到着。セルフチェックインに戸惑いながらもなんとか完了。全員、海外便は初めてとのことで、緊張とワクワクが半々の搭乗でした。</p>  <p>セルフチェックインに悪戦苦闘</p>  <p>いってきます！</p>
機内泊		

8/2(金)		
7:25	ブリスベン空港着	<p>定刻通り到着。入国審査・荷物受取を無事に終え、エメラルド空港までの国内便への乗継です。</p>  <p>ちょっとお疲れでした</p>  <p>国内線ターミナルへバスで移動</p>

14:15	エメラルド着	<p>空港では、セントラルハイランズ市の職員の皆さんが出迎えてくれました。宿にチェックイン後、モーターの周りを散策し、スーパーで初めてのお買い物体験もしました。</p>
16:30	アートギャラリー見学	<p>セントラルハイランズ市庁舎内にあるアートギャラリーでイベントを行っており、連れて行っていただけることに。ジャニス・モリアーティ市長とも偶然お会いしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アートを鑑賞中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ジャニス市長（中央）と記念撮影！</p> </div> </div>
17:45	夕食	<p>オーストラリアでの初めての夕食は自分の顔より大きい(?)ステーキです。皆、驚きのサイズに悪戦苦闘しながらも美味しくいただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ステーキを前にピース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>楽しい夕食の時間になりました</p> </div> </div>
モーター泊		

<b>8/3(土)</b>		
7:45	朝食 ホストファミリーとの対面	<p>エメラルドにある植物公園で、ホストファミリーと一緒に朝食です。英語での自己紹介と、一関市のプレゼン資料をホストファミリーの前で披露しました。その後、それぞれのホストファミリーと解散。今日明日はホストファミリーとのフリータイムです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>青空の下で楽しい朝食♪</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホストファミリーの前でプレゼン</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>6月ぶりに、セ市の高校生と再会！</p> </div>

8/5(月)

終日

高校訪問

ホストファミリーである高校生の通う学校へ1日体験入学です。生徒たちは日本の学校とは異なる教育方法に驚いたようです。クラスメイト達と色々工夫しながら交流して、とても良い体験になりました。



エメラルド高校 (玲音・心櫻・泉)



ブラックウォーター高校  
(琉此亜・藍子・美結・萌華)



カペラ高校 (百華)

ホームステイ

8/6(火)

8:30

ジェリンバ鉱山  
見学

セントラルハイランズ市の基幹産業・鉱工業の現場である鉱山を見学。生徒4人分の高さはあろうかという重機に上りました。その後、事務所で美味しいモーニング・ティーもいただきました。



広大な採掘現場



生徒たちが小さく見えます



ケーキとドリンクが空腹に沁みる

<p>11:30</p> <p>ブラックウォーター石炭センター見学</p>	<p>先ほど現場を見て来た鉱山について知るべく、石炭センターを見学。採掘の現場で実際に使われていた道具などを見ることができました。</p>	  <p>何に使われた機械でしょう？</p> <p>石炭を運ぶ列車の運転を体験？</p>
<p>13:30</p> <p>日本庭園見学</p>	<p>1998年に旧藤沢町がブラックウォーターに整備した日本庭園を見学しました。リラックスしながら少しの間散策を楽しみました。</p>	  <p>記念碑の前で集合写真撮影</p> <p>小さいけれどきれいな公園でした</p>
<p>14:00</p> <p>ブラックウォーター支所訪問</p>	<p>セントラルハイランズ市のブラックウォーター支所を訪問。私たちの受け入れの主担当であるアマダさんの勤務先です。職員の皆さんに歓迎していただきました。</p>	  <p>壁には一関市との交流の記録も</p> <p>職員の方と一緒に</p>
<p>14:30</p> <p>ブラックウォーター図書館見学</p>	<p>ブラックウォーター地区の図書館を見学。本を開いてみたり、ぬりえを楽しんだり自由に過ごしました。</p>	  <p>ぬりえに挑戦</p> <p>思い思いに過ごせる図書館でした</p>
<p>ホームステイ</p>		

8/7(水)

<p>8:15</p> <p>セントラルハイランズ市役所訪問 市長・評議員との面会</p>	<p>評議会室でジャニス市長及び3人の評議員の方々との面会しました。生徒たちも、セントラルハイランズ市からいただいたおそろいのユニフォームを着用して臨みました。ジャニス市長や評議員の皆さんから、セントラルハイランズ市と一関市とのこれまでの30年の交流についてお話をいただいた後、ピンバッジ2個を全員にプレゼントしていただき、和やかな時間を持つことができました。</p>	
 <p>ピンバッジをいただきました</p>	 <p>みんなで笑顔</p>	
<p>10:00</p> <p>レジンアクセサリーづくり体験</p>	<p>ルビーヴェール地区に移動し、レジンアクセサリーを作る体験をしました。皆真剣に臨み、先生から褒められるほど上手な作品を作ることができました。</p>	
 <p>真剣</p>	 <p>完成しました！</p>	
<p>13:45</p> <p>宝石採取体験</p>	<p>セントラルハイランズ市の観光名所・ジェムフィールズでの宝石採取体験に挑戦。土をふるって小石を洗って、その中から宝石の原石らしきものを選別する…という作業を全員で黙々と行いました。夢中になって作業した結果、皆小粒ながらもたくさん見つけることができました。</p>	
 <p>ふるいます</p>	 <p>洗います</p>	 <p>選別します</p>
<p>19:00</p> <p>セミナーハウス着</p>	<p>7日・8日の2日間は、旧藤沢町が建設したセミナーハウスに滞在します。ベッドの上にはセントラルハイランズ市からのプレゼントが詰まったバッグが置かれ、食べきれないくらいのお菓子や飲み物が棚や冷蔵庫に詰められており、その歓迎の気持ちに全員感激しました。</p>	

セミナーハウス泊

8/8(木)

9:00  
マンダリン農場・  
出荷工場見学

エメラルドにある2PH農場というマンダリン農場を見学。オーストラリア最大級のサプライヤーとのことで、広大なマンダリン畑と出荷工場をご案内いただき、生徒たちは、一関市では普段見ることができない光景に驚いていました。



農場のみなさんと



工場を案内いただきました

13:00  
牧場見学

ヴァンダイク牧場という肉牛の牧場を訪問。牛を見ながらビーフステーキバーガーをセルフサービスでごちそうになった後は、放牧場と、牧場に到着したての子牛に予防接種を打つ作業を見学しました。



セルフステーキバーガーづくり



たくさんの牛に圧倒！

18:30  
送別夕食会

ホストファミリーやスタッフの皆さんとの送別夕食会を開いていただきました。お互いの揃いのポロシャツにサインしあうなどして、生徒もホストファミリーの皆さんも最後の夜を楽しみ、別れ際は名残惜しく手を振り合う様子があちこちで見られました。



みんなで最後の食事



感謝のスピーチを述べました



ユニフォームにお互いにサインします



パーティの後も盛り上がり続けました

セミナーハウス泊

8/9(金)		
7:45	市長との朝食会	<p>お世話になったセミナーハウスを後にし、セントラルハイランズ市滞在の最後の朝は、モリアーティ市長との朝食会でした。ウィルキンス評議員やセントラルハイランズ市で8日間お世話していただいた職員の皆さんにもご同席いただき、最後に和やかな交流の時間を持つことができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>お世話になったセミナーハウス</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ベジマイトの食べ方講座中</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>市長さんたちと記念撮影</p> </div>
9:30	大きなゴッホの「ひまわり」見学	<p>エメラルドの観光名所の一つである大きなゴッホの「ひまわり」の前で記念撮影。その後、エメラルド空港へ移動しました。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>フレームに入りきらないサイズでした</p> </div>
11:55	エメラルド空港発	<p>お世話になったセントラルハイランズ市の職員の皆さんに感謝を告げ、ブリスベンへ。ブリスベン空港で国内線を乗り継ぎます。</p>
16:35	シドニー空港着	<p>シドニー空港到着後、宿にチェックインして、ホテル周辺を軽く散策。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>突然大都会に来てしまった…</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みんなずっと上を見上げていました</p> </div> </div>
		ホテル泊

8/10(土)		
10:00	シドニー市内見学	<p>最終日は、シドニー市内を見学。教科書で見たことのあるオペラハウスや、晴天のシドニーハーバーなど、たくさんの写真を撮り、市内の散策を楽しんでいた生徒たちでしたが、その間も一日中「セントラルハイランズ市に戻りたい、ホストファミリーに会いたい」と言っていたのが印象的でした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>晴天のシドニーハーバーを背に</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>教科書にも載っているオペラハウス</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>かわいい！と大人気のコアラ</p> </div>
21:15	シドニー空港発	<p>早めに空港へ到着後は、お土産を買ったり、休憩したり。飛行機に遅れもありましたが、全員無事に搭乗しました。いよいよ帰国です。</p> <div style="text-align: center;">  <p>リラックスして搭乗待ち</p> </div>
機内泊		

8/11(日)		
6:15	羽田空港着	<p>9時間30分のフライトを経て、無事日本に到着。入国審査と荷物の受け取りを済ませて、東京駅へ。一路一関を目指します。</p>
11:27	一ノ関駅着	<p>駅で待つ家族の顔を見て、生徒たちも心なしかホッと安心したような表情です。11日間、みんな頑張りました！お疲れさまでした。</p> <div style="text-align: center;">  <p>おつかれさまでした！</p> </div>

< 帰国報告会 >

<b>8/13(火)</b>	
13:30～ 14:00	<p>市長への帰国報告会</p> <p>この日は全員で、派遣事業からの無事の帰国と、セントラルハイランズ市での活動を通じて感じたことや、思い出などを一関市役所で市長に報告しました。</p> <p>また、この数日後に市長がセントラルハイランズ市を訪問し交流30周年記念フェスティバルに出席する予定であることから、フェスティバルの中で揚げる記念カイトに全員でメッセージを記入し、託しました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>いただいたプレゼントの一部</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>一人一人思い出を語りました</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>カイトにメッセージを記入</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2つのカイトが実際に揚げられました</p> </div> </div>

< 事業報告会 >

<b>11/10(日)</b>	
10:00～ 10:45	<p>一関市中学生海外派遣事業報告会</p> <p>セントラルハイランズ市で体験したことや学んだことを、当日は約40名の参加者の前で発表しました。残念ながら1名体調不良で急きょ欠席となりましたが、突然のアクシデントにも動じず、7名でフォローしあって無事に発表を終えることができました。また、参加者から出た質問にも、一人一人しっかり考えて答えていました。</p> <p>終了後には参加者から大きな拍手をいただき、一関市中学生海外派遣事業の最後を締めくくりました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>思い出の写真とレポートによる発表</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>皆、堂々と発表していました！</p> </div> </div>

#### (4) 派遣生徒感想レポート

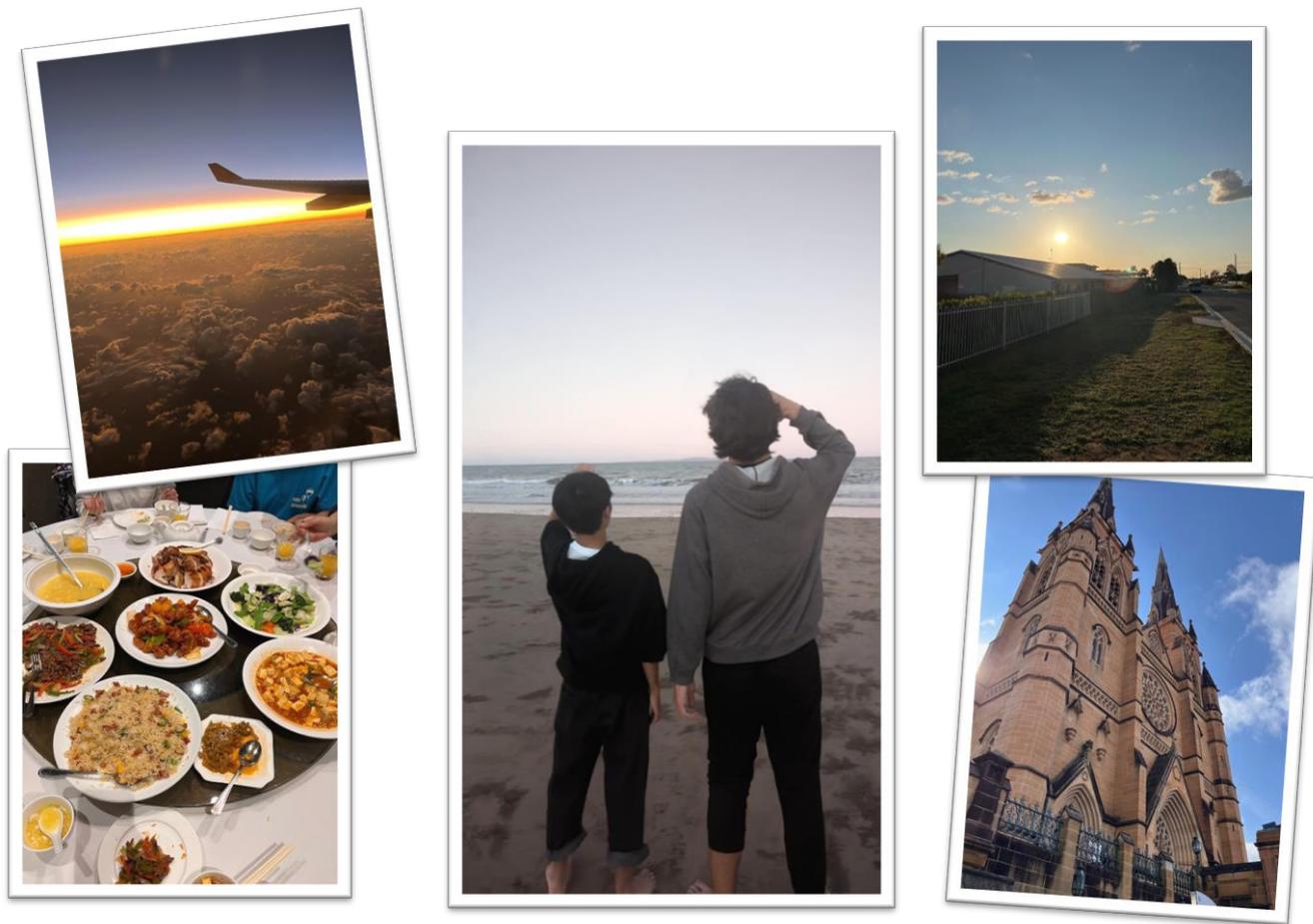
いがらし れおん  
五十嵐 玲音

僕は今回の海外派遣事業を通して日本とオーストラリアの生活などの違いを知ることができました。オーストラリアでは、トイレとシャワーが同じとこにあったり、くつのまま過ごすなど日本とは違うことを学びました。

初めは緊張していたのですが少しずつ時間が経つにつれて緊張がほぐれていきホームステイをたのしむことができました。現地での生活では5日目の学校訪問がすごく心に残りました。オーストラリアの学校ではタブレットを使うことが多く大体の教科でタブレットを使っています。それにオーストラリアの人はすぐ話しかけてくれたりしたので話しやすく友だちになりやすいことに気づきました。

8日目の送別会が一番心に残っています。最後のホストファミリーとの交流で悲しい気持ちがありましたがみんなからサインを服に書いてもらい宝物を作ってもらえました。

今回の派遣事業を通して国が違っても友達を作れることや他の文化や生活を知ることができすごくいい派遣事業になりました。また、言葉が通じなくてもジェスチャーなどをすると意外と通じることに気づけました。この経験を将来に活かして行きたいと思います。



私が今回の海外派遣事業でオーストラリアに行くにあたって事前に決めていたテーマは「海外の生活様式を知ることによって日本の文化との違いや、これからの日本に必要なことを考えるきっかけをつくる」でした。

これらのことを踏まえてオーストラリアに行った結果、日本の文化とは大きく違うなと感じたところは三つあります。

一つ目は人柄です。日本では失礼の内容に初対面の方に対しては少し距離を置きますが、オーストラリアでは店の初対面の店員さんに向かってフレンドリーに話しかけていたので、明るい人柄の人が多く印象を受けました。

二つ目はおもてなしの方法です。日本ではおもてなしと聞いたら、いつもより少し良い食事をだしたりすることでもてなすというイメージがありますが、海外では豪華ではないけれど、人の温かさでもてなされた感じがありました。例えば、ちょっとしたお菓子をくれたり、日本語で話そうとしてみてくださいという思い出があります。日本のおもてなしと通ずるものもあると思いますが、私はどこか日本のおもてなしとも違うものがあるように感じました。

三つ目は教育です。ホームステイの中で一番思い出深かった学校見学でしたが、学びに対する認識の違いに衝撃を受けました。日本では、学校は勉強を教わりに行くイメージが強いのに対して、オーストラリアはパソコンを用いて自分で学びを深め、それを先生が手助けをしているイメージを受けました。

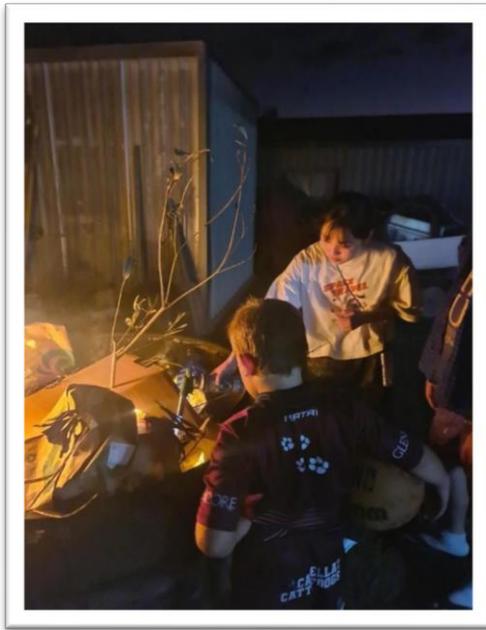
オーストラリアに行ってみて、日本の方が進んでいると感じるものもあれば、遅れていると感じるものもありました。その中でもただ周りよりも進むのではなく、何を大切にして、何を残してはいけないのか、までする考えるのが重要だということを私は今回の海外派遣事業で学べたと感じています。



今回の海外派遣事業では行ったことのないところへ行って、新しい考えを得て、たくさん学び成長する事が私の目標でした。この目標は10日間で達成することができました。たくさんの人との出会いや交流があり、とても成長しました。特に成長できたと感じたのはホームステイです。ホームステイでは自分の英語が伝わらない事が多かったので、ジェスチャーをつかったり表情を意識しながら積極的に会話をしようと努力しました。Yes、No だけでもいいので自分の意思をはっきり伝える事の大切さを学ぶことができました。ホストファミリーとの日々も楽しく、ピクニックに行ったり、バイクに乗らせてもらったり、火の棒で遊ぶなど、忘れられない思い出ができました。

海外派遣を通じて、英語に対する興味が一層深まり、挑戦することの大切さも学びました。最初は不安でしたが、新しい環境に飛び込むことで自分を大きく成長させることができました。日常生活を送っていると、世界は自分の回りだけだと思いがちですが、今回の経験を通じて、世界はもっと広くて自由であることを実感しました。オーストラリアで出会った人々の温かさに触れ、日本では忘れかけていた「人に優しくすること」の大切さを改めて感じる事ができました。

この海外派遣は私にとって忘れられない体験となり、ぜひまたオーストラリアに行きたいと思いました。この経験を通じて、自分に正直に生き、これからも挑戦し続けたいです。



今回のオーストラリア海外派遣に行って、学びたいことに対するはっきりとした答えは見つけれなかったけれど、現地の方々は、とても優しく親切な人ばかりでとても慣れないことばかりだった私にとってとても心強かったです。

そして、私がオーストラリアで学んだことや楽しかった思い出は、二つあります。

一つ目は、オーストラリアの学校に行ったこととコミュニケーションの取り方についてです。まず、オーストラリアの学校について学んだことは、1つ1つの授業の様子が日本と違うことです。オーストラリアの学校では、好きな教科を選択したり、普通の授業で他学年の人と交流しながら受ける所に違いを感じ色々な意見が感じられると思い学びました。

次にコミュニケーションについてです。日本語とは違う英語で会話をすることによって普段会話している環境とは違って積極的に行動することが大切ということを知りました。また、住んでいる地域や言語が違っていても、同じことを協力して行うことによって国の壁を超えて仲良くなれるということが大切だと自分の中で感じました。

これからの生活では、国を超えて色々な人とコミュニケーションを取ることや私がこの中学生海外派遣事業をチャレンジしたように何事にも挑戦することを大切にして生活に活かしていきたいです。

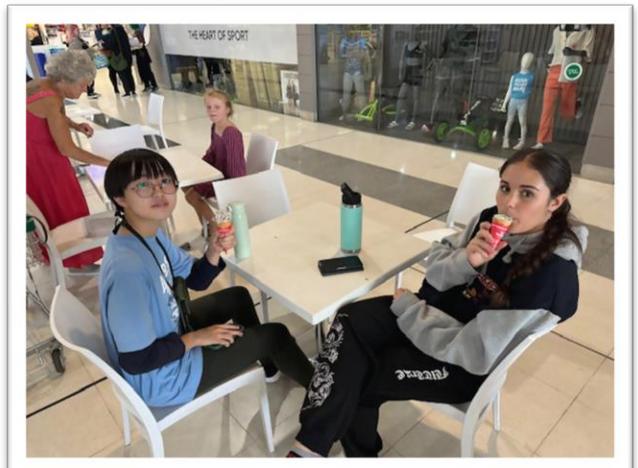
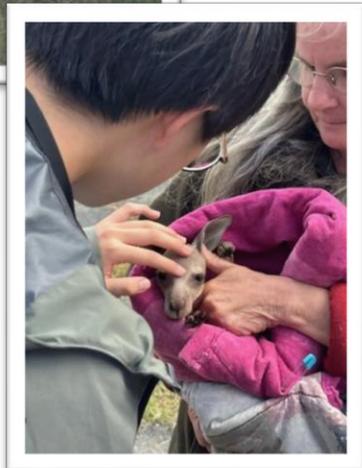
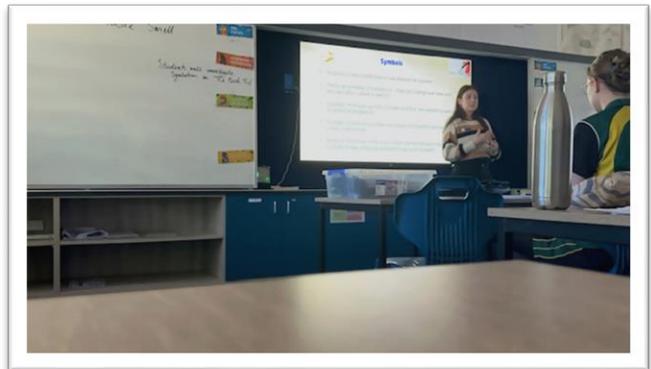


私は今回の派遣事業を通して、日本とは異なるオーストラリアの文化や生活について詳しく知りた  
いと考えていました。事前に学校でもオーストラリアについて学んでいましたが、話を聞くのと体験す  
るのでは全く違いました。

気候が日本と正反対でなおかつ日差しがとても強いため、現地の人々は日差しよけの工夫をしていた  
り、土地が広いので一つ一つの家の敷地面積が大きいことなどが学びました。また、町の様子を見ると  
日本の車やお菓子が売られていたりして、日本の文化も段々と浸透してきていると感じました。

最初は緊張して慣れないことも多かったですが、日が経つにつれてホストファミリーとも気軽に話せ  
るようになり、ホームステイがより楽しいものとなりました。現地での生活では、4日目にホストファ  
ミリーに連れて行ってもらった鳥獣保護区が心に残っています。そこでは様々なオーストラリアの動  
物たちに触れ合うことができ、オーストラリアの自然やその厳しさについての話も聞かせてもらいま  
した。また、5日目に訪れたエメラルドの高校体験では、高校受験がないことや校舎全体が開けていた  
り席の指定がないことなど、日本に比べて自由な雰囲気が感じられました。自由といえば、オーストラ  
リアで行われた送別会も日本と比べてみんなが楽しく話しながら食事をしたので、式典という形の日  
本との文化の違いを感じました。

今回の派遣事業を通して、私はオーストラリアの文化や生活についてより理解を深めることができ  
ました。また、国を越えて友達をつくれることとその喜びを知ることができ、自分の世界観も広がりま  
した。そして、言葉が通じなくてもコミュニケーションをとろうとすることで人と仲良くなれることも  
学びました。この経験をこれからの学校生活や日常生活でも生かし、人生をより良いものにしていき  
たいと思います。

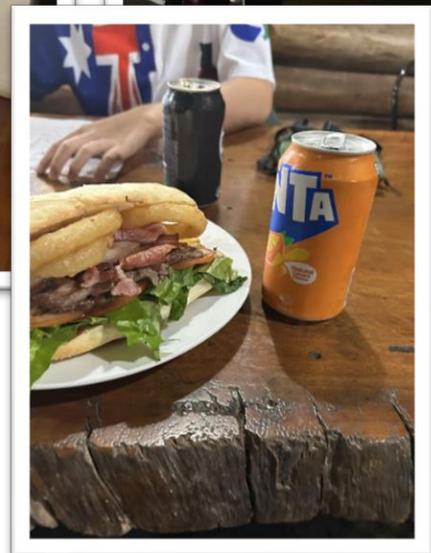
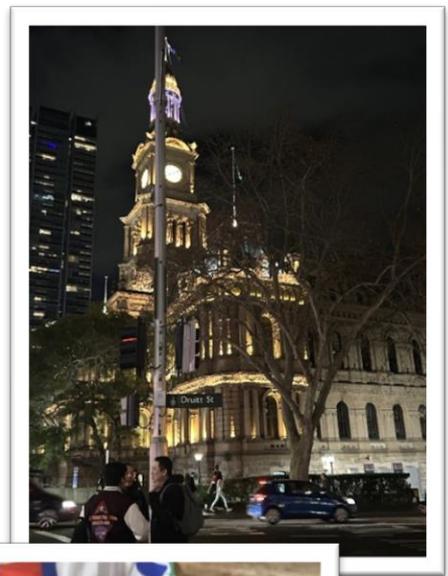


私はこの海外派遣事業で、たくさんの方のことを学ぶことができました。不安なことも多くありましたが、何にも代えられない体験ができたと思います。

オーストラリアと日本には、予想以上の文化の違いがありました。私が一番驚いたのは食事の違いです。家庭ごとの差はあるかもしれませんが、主に肉やパン。じゃがいもを使った料理が多く、滞在中に全然野菜を食べなかったことは印象に残っています。また、食べ物のサイズが大きかったことと、昼食が二回あったことにも驚きました。

オーストラリア滞在中、私が特に大切にしていたのは、積極的に人とかかわることです。日本では英語を勉強することはあっても、実際に話すことはありませんでした。なので、初めは何を話しているのかわからなかったし、うまく質問に対して返せなかったことが多かったです。しかし、ホストファミリーの人たちは、翻訳アプリを使いながら親切に対応してくれました。ホストファミリーも私や日本のことについて知ろうとしてくれている事に気づき、とてもうれしくなりました。それから私は、積極的にオーストラリアについて尋ねたり、日本の文化などを紹介したりできました。たとえ言葉や住んでいる場所が違って、お互いのことを知ろうとする気持ちが大切だと学ぶことができました。

この海外派遣事業で実際に生の英語に触れ、教科書にはない本物の表現や発音を体験出来ました。これからは、授業や日常生活でこの経験を活かし、より自然で効果的な英語の使い方ができるようになりたいです。



ちば みゆ  
千葉 美結

私は今回この事業に参加できたことをとても嬉しく思っています。なぜなら、授業で習ってきた文法や英会話を実際に使うこともできたし、日本とオーストラリアの生活の違い、食文化、どのような産業が盛んなのかを現地で体験することができたからです。

私はこの事業で、オーストラリアでは気候に合わせてどのような生活をするのか、主にどのような産業や工業をしているのかを知ることができました。また、少し苦手意識のある英会話でも、ほんの一、二回だけでもコミュニケーションができたと思うことができました。私が返答しづらくて言葉が詰まってしまったときは、ゆっくり話しかけてくれたり、ジェスチャーを付けて伝えようとしてくれたことが、とても嬉しかったです。

印象に残っていることは主に二つあります。一つ目は、学校を訪問し、一緒に体育の授業を受けさせてもらったときに、声をかけあったことです。意思疎通が上手くできるかどうか心配でしたが、「ナイスプレイ！」などと励ましたり励ましてくれたりして、とても楽しかったです。このとき私は、『言葉が違ってても、一緒に楽しむことができるんだ!』と思いました。

二つ目は鉱山の見学です。全体が見える場所まで移動すると、とんでもない広さで広がっていて、その広さが何個もあってそれぞれの国に輸出することにびっくりしてしまいました。

今回のこの体験を思い出として終わらせずに、中学校・高校の英語の授業や社会の授業に関連づけたり、就職する時に活用できる仕事に就いたりしたいと思います。



初めての飛行機。初めての海外。私はオーストラリアに行くことをとても楽しみにしていました。長いフライトを終え、到着したオーストラリアは、日本とは全く違う場所でした。見るものすべてが新鮮で、海外に来たという実感が強く沸きました。次の日の朝食会では私の家にホームステイしていたアンジー、私のホームステイ先となるレベッカに会うことができ、とても嬉しかったです。ホストファミリーは私達を温かく迎え入れてくれ、本当の家族のように扱ってくれました。そのため日本を離れていても、オーストラリアに家族がもう1つあるように感じられ、ホストファミリーの存在がとても心強かったです。一緒に作ったデンパ。初めてお店で塗ってもらったネイル。ザリガニ釣りに行った池の景色。教えてもらったギター。一緒に行った学校や、一緒に見たオリンピックとラプンツェル。そしてジェンガ。お別れパーティーではホストマザーが私がプレゼントした髪飾りを付けてくれていて、とても感動しました。

自分とは違う言語を話す人が周りに多くいないため、人種を越えて仲良くなるにはどうすればよいか、をこの海外派遣事業を通して学ぼうと思いました。私が見つけた答えは、「特にない」です。伝えようとする思いがあれば、言語や文化の壁があったり、多少文法が間違っても相手に伝わります。日本で誰かと仲良くなるように、言語や文化を越えて仲良くなることができるのだと感じました。

私はアンジーやレベッカなどの、また会いたいと思える素敵な人達にたくさん会うことができました。また彼らに会いたいため、私はまたオーストラリアに行きます。世界の他の国々にも興味を持ったので、色々な国に行き、日本だけでなく世界にも目を向けられる大人になりたいです。そして、この11日間は今までの人生で一番楽しかった11日間です！本当にありがとうございました！！

